

<社会福祉法人 健成会 様>

上映日:2018/01/20(土),21(日)

場所:特別養護老人ホーム 加賀屋の森&南港ポートタウン管理センター(大阪府大阪市住之江区)



1日目の会場。



2日目の会場。問い合わせが多く、追加開催となりました。

上映会を通して、理念でもある「地域に貢献する」ということが実現できたと思います。

●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

当法人の理事長より幹部スタッフへチケットのプレゼントがありました。鑑賞したスタッフで意見交換会を開き、FBで自主上映会が出来るという情報を得ました。「劇場公開に参加できなかったスタッフにぜひ観てもらいたい。介護の仕事をしている人たちに自信と誇りを持ってもらいたい。介護の仕事をしたという人を増やしたい。」そんな思いで開催しました。

●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

認知症カフェを開催しており、そのメンバーと法人内の各施設長、事務長で実施しました。

●協力の得られた団体はありましたか？

住之江区役所には、書面で後援依頼書を提出し承認を頂きました。さきしま地域包括センターは当法人が受託している施設であり、口頭での依頼をしました。協力いただいた内容は、他事業所や地域の方への呼びかけです。また、施設内での上映会には、カーテンリースの業者さんに暗幕となるカーテンを協力して頂きました。

●資金はどのように捻出しましたか？

法人経費で賄いました。

●地域へどのように告知をしましたか？

回覧板、チラシ、ケーブルテレビ、中学校・高校・専門学校へのチラシ配付、法人ホームページ、事業所へのFAX、地元顔役への電話での案内です。2日間で200名近くの方にお越しいただきました。

地元で開催の各集会でチラシを配布しましたが、これが一番効果があったように感じます。

Facebookでは、遠方の方からの問い合わせがありました。

●上映会当日の様子や、上映会開催の感想を教えてください。

事前準備から参加したスタッフから、安堵とともに達成感を感じてもらったことが何より嬉しく思いました。参加できなかったスタッフからはもう一度やりたいという声もありました。準備段階ではいろいろと苦労はありましたが、多くの来場者に喜んで頂けました。上映会後には少しの間でしたがシンポジウムを開催して参加の皆さんと意見交換をいたしました。理念でもある「地域に貢献する」ということが実現できたと思います。

専門学校に通っている学生さんからは「頑張って資格を取ります」と力強い言葉も聞けたので、次回開催の機会があればもっと若い方(中高生など)にこの映画を観ていただきたいと思いました。また、参加者の中には涙を流しながら帰っていく方もおられました。

●今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

ケアニンの輪を広げ、介護職の優しさ、やりがいを多くの方々に知って頂きたいです。主人公の成長していく姿だけではなく、ケアニンの多様性や管理責任者の育て方にも注目して欲しいと思います。上映会では、涙を拭くポケットティッシュをたくさん準備することをお勧めします。

ご担当者:江村 多美子さん

社会福祉法人 健成会
<http://kenseikaigroup.or.jp/>
大阪住之江区の南港病院を母体とし、特別養護老人ホーム、認知症グループホーム、通所介護を運営。大阪市から地域包括支援センター、認知症初期集中支援チームを受託。平成30年からは保育事業(保育所)を開始する予定。ペット(犬、猫たち)と終生生活できる癒しの施設を目指している。